

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年10月27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102647		
法人名	株式会社 トゥルーケア		
事業所名	グループホーム メロン	ユニット名	1丁目
所在地	〒311-1113 茨城県水戸市平戸町舟渡380-1		
自己評価作成日	平成22年4月15日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年6月24日	評価確定日	平成22年9月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>急激に入居者様の身体機能が低下し、数ヶ月前の入居者様と現在では大分変わってしまった入居者様もいます。 入居者様の状態の変化を見落とさず、「今の入居者様にとって何が必要なのか？」話し合いを重ねて、入居者様が過ごしやすい環境を提供出来るように努めています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者は散歩の途中で近くの住民と挨拶を交わすとともに、地域の清掃活動などに参加している。 職員は利用者が地域に密着した日常的な交流をしながら生活するのを支えている。 事業所は中学生の職場体験学習を受け入れたり、職員が年に1度近隣の小学校へ車椅子体験指導に出向くなど地域とのつながりを深めている。 入浴日や時間帯など利用者一人ひとりの希望にそって入浴できるよう取り組むとともに、車椅子の利用者には安心して入浴できるよう機械浴を支援している。 職員は利用者が近場の海岸へのドライブを楽しめるよう支援している。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所だけで介護をするのではなく、地域で生活を共にする者として互いに協力できる施設になるよう努めています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を全職員で作成し、朝の職員引継ぎ時に確認し合うなど日常的に共有しながら理念の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を行った際に地域の方に働きかけ、地域の行事に参加出来るようにしています。	利用者は職員と一緒に地域の清掃活動に参加したり散歩などで挨拶を交すなど、地域住民と日常的に交流を図っている。 「ふれあい祭り」などの地域行事や市内の小学校の運動会に参加している。 事業所は中学生の職場体験学習を受け入れたり、年に1度近くの小学校の車椅子体験の指導に出向くなど、地域とのつながりを深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に参加して下さった方には、認知症の理解などお話をさせて頂いていますが、地域のたくさんの方に向けては行っていません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価の結果を会議で報告し、改善に向けての取り組みをお話させて頂いています。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、委員には会議の年間予定を知らせている。 会議では事業所の運営状況や活動報告をするとともに、外部評価で明らかになった課題等について話し合っている。 地域行事などの情報を得るほか、緊急時における避難の協力を依頼するなどサービスの質の向上に活かす機会となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を開催した際に情報交換を行っています。また、日頃分からない事があった時には直接市役所に出向き指示を仰いでいます。	市担当者が運営推進会議に参加しているほか、管理者は機会ある毎に事業所の運営上の問題や利用者の入居などについて相談をしたり、市担当者が参加するグループホーム連絡協議会で情報交換をするなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束の勉強会を開催しています。また、朝礼や終礼時に身体拘束についての話があります。	職員は外部研修に参加したりマニュアルに基づいた勉強会を実施し、身体拘束をしないケアについて理解をしている。 ミーティングや申し送りなどで日常的に話し合い、確認し合いながら、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待についての勉強会を開催しています。事業所内で虐待が行われていないか、管理者からのヒアリングがあり、虐待が行われないよう努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会がありません。いつ情報を求められるか分からない為、学ぶ機会を作りたいと思います。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間を掛けて説明を行うようにしています。ご家族様が理解・納得して契約が結ばれるように説明をしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に外部の苦情受付期間が市役所の介護保険課である事を記載して、契約を行う際にお話させて頂いています。	管理者は利用者や家族等が運営推進会議や面会時に意見や要望を言い易いような雰囲気づくりに努めている。 介護相談員を受け入れ、利用者が意見や要望を外部へ表せる機会を設けている。 ユニット毎に意見箱を設置し苦情処理報告書を作成するほか、申し送りノートで全職員へ周知徹底を図る体制となっているが、投函が少なく意見等を汲みあげるまでには至っていない。 法人の広報紙を発行しているが、事業所独自の広報紙を発行するまでには至っていない。	事業所独自の広報紙を発行し利用者の日頃の様子を伝えることで家族等の意見や要望が出易くなるよう努めるとともに、アンケートを実施し家族等の意見等を汲みあげるよう工夫することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	本部職員が定期的に顔を出し、職員と個別に面談をする時間を設けて下さいます。	管理者はユニット会議を定期的開催し職員から意見や要望を聞く機会を設けているが、全体会議を開催するまでには至っていない。 本部職員が定期的に来訪して個別に面談するなどコミュニケーションを図り、話し易い関係づくりに努めている。 人事異動が多いため職員の意見や要望を反映するまでには至っていない。	管理者は定期的に全体会議を開催し職員とのコミュニケーションを図るとともに、アンケートを実施し職員の意見や要望を汲みあげるよう取り組むことを期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本部職員が定期訪問をする他に、管理者等と話し合いをする時間を設け職場環境の整備に努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員対象の勉強会の他に管理者の為研修会を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	水戸市のグループ協会に加盟し、定期的な研修会等に参加をして他の施設の方と交流をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前調査を行う際に困っている事、不安に感じている事を伺って安心入居して頂けるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の相談を受けた時から現状困っている事や入居後の生活に望まれる事を伺うようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の相談を受けた時にグループホームに入居可能かの判断をし、他のサービスの方がその方にとって良いと考えられる場合は、関係機関と連携を図り対応しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員・入居者様という関係ですが、日々介護をさせて頂くなかで、時に『親・子』『祖父母・孫』のように家族のような気持ちでお世話をさせて頂く事があります。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が面会に来荘した際は、挨拶をするだけでなく、最近の様子をお伝えするようにしています。ご本人様を介護していく中で、ご家族様からたくさんの情報を頂き、その情報を生活に活かせるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様からの希望があった際には出来る限り対応するように努めたいと思いますが、そのような希望がありません。	利用者の知人や友人が来訪している。 職員は利用者の親類や友人からの電話をつないだり、手紙の交換を支援するなど、良好な関係が継続できるよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者様同士・気の合わない入居者様同士を把握し、テーブルの配置を考えてします。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後にご家族様から相談を受けた際には出来る限りの支援に努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ入居者様の希望に副って生活して頂けるように対応しています。	職員は利用者のこれまでの生活歴を参考に家族等の意向などを取り入れて、一人ひとりの思いの把握に努めている。 思いを伝えられない利用者からは表情などから汲みとるなど、日々の係わりの中での気づきを申し送りノートに記録し、職員間で共有しながら利用者の思いや希望にそった生活ができるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前調査を行う際に生活歴やこれまで利用していた介護サービスも含めて伺っています。状況に応じて、ご家族様からの情報だけではなく、介護サービス事業所の方にお話を伺い情報を頂く事もあります。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人一人の力量に合わせて出来る事は入居者様自身に行って頂けるように支援をしています。その日の体調や気分によって対応を変えています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様が参加される事はありませんが、定期的にケアプランの見直しのカンファレンスを行っています。	介護計画は職員でカンファレンスを行い医療関係者などの意見等を反映させるほか、利用者や家族等からは電話や面会時に聴いた意見や要望を取り入れて作成している。 毎月のカンファレンスで話し合い支援経過を見ながら現状に即した介護計画になるよう見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活記録があり、日々の生活の様子を記載しています。いつでも確認する事が出来る為、職員間で情報を共有する事が出来ます。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様・ご家族様の状況の変化以外に介護保険法の改正もある為、今までのやり方にとらわれず、その時・その状況にあった対応が出来るように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	病院受診や近隣のお店に買い物に出掛ける事はありますが、他にもたくさんある地域資源を活用出来ている状況では無い為、必要に応じた利用出来るように支援していきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者様・ご家族様の希望に合わせて主治医を選んで頂いています。ご家族様が受診の対応して下さる時には、最近の様子や、変化などお伝え頂くようにご家族様に情報を伝えています。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医の受診を支援している。 協力医療機関の内科医による訪問診療が2週間に1回、訪問看護ステーションの看護師の訪問が週1回、歯科衛生士による口腔ケアが週1回あり、希望する医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間の訪問看護ステーションと提携しています。また、週1回の定期訪問がある為、担当者とともに情報交換が行えます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーを作成し、これまでの生活の情報をお伝えしています。また、状況に応じて入院先に出向き、医療関係者と今後の生活についての話し合いを行うようにしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階での話し合いは行っていますが、お話をする機会がある時には個々に話をするようにしています。	契約時に利用者が重度化した場合や終末期に事業所が対応できる最大のケアについて利用者や家族等に説明し同意書を交わしているが、利用者一人ひとりの重度化した場合や終末期のあり方について早い段階から話し合うまでには至っていない。 終末期に向けた対応マニュアルを作成しているが、職員はマニュアルにそった研修を実施するまでには至っていない。	重度化した場合や終末期のあり方を家族等と早い段階から話し合うほか、マニュアルをもとに全職員で研修することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日常的に急変時の対応を訓練として行っていますが、急変時の対応法を主治医や訪問看護師より指導を頂き、職員同士情報交換をしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を定期的に行っていますが、1回の訓練に全員参加する事が出来ない為、何度も訓練を重ね、全職員が災害発生時に対応出来るようにしたい。	消防署立会いのもと年2回避難訓練を実施しているが、夜間を想定した訓練を実施するまでには至っていない。 運営推進会議を通して避難訓練に地域住民の協力を働きかけているが参加を得られるまでには至っていない。 災害の発生に備えて食糧品や飲料水、おむつ、毛布などを備蓄するまでには至っていない。	夜間を想定した避難訓練を実施するとともに避難訓練に地域住民の参加を得られるよう更に働きかけていくことが望まれる。 災害の発生に備えて食糧品や飲料水、おむつ、毛布などを備蓄するほか、賞味期限等のチェック表を作成することを提案する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として敬う気持ちを大切にしよう話をしています。	職員は常に利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。 契約書等の重要書類は事務室の鍵のかかる保管庫に、個人情報に関する書類は事務室の決められた場所に保管するなど取り扱いには十分注意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご自身の意思を伝えられない入居者様には表情を見ながら対応するようにしています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の意見を入居者様に伝えるのではなく、入居様ご自身の希望が言えるように声掛けをしています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	男性の入居者様ですと髭剃りをしたり、寝癖を直してあげるなど、その人らしく過ごせるように支援している。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と職員と一緒に食事を摂る事で、食事の時間の会話が多くなりました。また、出来る方には食器拭きなど一緒に行うようにしています。	職員は利用者と一緒に会話をしながらゆっくりと食事ができるよう支援するとともに、献立には利用者の好みや季節感を取り入れるよう工夫をしている。 利用者はテーブルや食器拭き、下膳など一人ひとりの能力を活かした役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は委託をしています。水分摂取量を測るように主治医より指示が出ている入居者様に関しては、個別に水分摂取表を記入しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後入居者様の状態に合わせた口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来るだけ自立に向けての支援を行いたいと思いますが、入居者様の身体レベルの低下により、自立への支援が困難な状況になっています。	職員は排泄記録表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、声かけのタイミングを図りながらできるだけトイレで排泄ができるよう支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のレクリエーションに体操を取り入れ体を動かすようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日を決めての支援は行っていませんが、介助を要する入居者様が多く在籍している為、職員に合わせて対応する事が多くありますが、その中でも入居者様の希望に聞き入れ入浴するようにしています。	職員は入浴日や時間帯など利用者一人ひとりの希望にそって入浴できるよう取り組んでいる。 入浴を拒む利用者には体調や状態に合わせて言葉かけを工夫したり、タイミングを見計り無理のないよう促している。 車椅子の利用者には安心して入浴できるよう機械浴で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間眠れない入居者様に対して、無理に居室に入り休んで頂くのではなく、お話をしながらお茶を飲み眠くなってから休んで頂くようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の名前・用法・副作用等を個別に確認し、病気に対しての薬の服用が分かるように各自調べています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様にとって何が気分転換になるか把握して、一人一人が楽しい生活が過ごせるように支援していきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者様が希望される時に散歩や外気浴を行えるように支援していきたい。また、入居者様から特別な場所に行きたい。との希望はありませんが、希望がある時には出掛けられるよう支援していきたい。	職員は利用者一人ひとりのその日の希望や体調に合わせて散歩に出かけられるよう支援するほか、近くの海岸へのドライブや買い物に出かけられるよう支援している。 季節毎の行事を計画し、初詣や花見、紅葉狩り、花火大会などに出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様自身がお金を持ちたい。との希望はありませんが、希望があった時にはご家族様と相談をして希望に副えるように支援していきたい。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様から電話や入居者様が希望された時にお話ができるように対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節が分からなくなるような混乱を招く温度にせず、暑すぎず、寒すぎないように調整をしています。また、門松や節分の鬼などを飾る事で季節感を感じられるようにしています。	共用空間は十分な採光を取り入れるとともに温度調節に気を配り、居心地よく過ごせるよう工夫している。 廊下に手作りの作品を飾ったり、紫陽花など季節の花や散歩中に近隣から頂いた花を飾り、温かい雰囲気の中でゆったりと過ごせるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う入居者様がお話しやすいように席の配置に工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用していた食器や家具などお持ち頂き、今までと同じような環境で生活して頂けるようにご家族様にお話させて頂いています。	利用者は居室に馴染みのタンスや調度品、テレビ、時計を持ち込んだり、家族等の写真や手作りの作品などを飾り寛いで居心地よく暮らせるよう工夫をしている。 ひいきのスターの写真を飾ったり、楽器などを置いて入居前と変わらない環境となるよう工夫し、生活感がある暮らしとなるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内がバリアフリーになっている事で、下肢の筋力低下がある入居様もシルバーカーをご自身で転倒せず安心して歩行する事が出来るようになっていきます。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと ○ 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームメロン

作成日 平成22年10月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
3	6	事業所独自の広報や家族の意見を取り入れやすい環境作りが必要である。	事業所広報の定期発行及び家族への無記名アンケートの実施が行える。	広報については事業所新聞作りの流れを構築していく。無記名アンケートについては家族会を開き内容を周知し、その後実施しその都度サービスに活かしていく。	3ヶ月
4	7	異勤が多くあり、職員の意見の聞き取りが行えやすい環境が整っていない。	職員の悩みややりたいことなどの意見が本部職員に伝えやすい環境を作る。	本部職員が事業所に立ち入る機会を増やし、職員との意見交換などが行える環境を作る。	3ヶ月
2	12	重度化に向けての研修や職員との体制作りがしっかり行えておらず、マニュアルにそった対応が行えるまでには至っていない。	重度化に向けてのマニュアルの理解と定期的な研修の実施。	会議などでマニュアルについての説明を行い、その後重度化に向けての研修を定期的開催していく。	6ヶ月
1	13	夜間を想定した避難訓練が行えておらず、事業所内には非常食の備蓄が不十分である。	夜間想定避難訓練の実施及び災害時の必要物品の備蓄が出来る。	年内に夜間を想定した災害訓練の実施を行い、災害時の必要物品については、再度検討していく。	6ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。